

内水はん濫防災ガイド 保存版

災害は突然起こります。あなた自身とあなたの大切な人を災害から守るために、この「羽曳野市内水はん濫ハザードマップ」を活用して、防災について私たち一人ひとりができることを考えてみましょう。



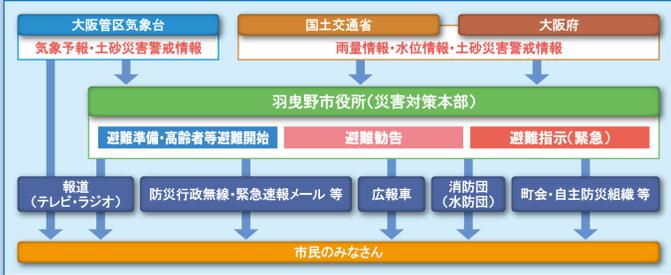
避難情報について

羽曳野市では、災害発生のおそれのあるときや、災害が発生したときには『羽曳野市災害対策本部』を設置します。また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発表します。避難情報の内容と周囲の状況に注意して適切に避難しましょう。

避難情報の種類及び、とるべき行動

種類	発表時の状況	とるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	災害による被害発生の可能性が高まってきている状態	テレビ等から最新の情報を収集する、避難の準備をする(持出し品の準備等)、避難に時間がかかる人は避難を開始する
避難勧告	災害による被害発生のおそれ明らかに高まってきている状態	避難所への避難を開始する 逃げ遅れたときや、周囲の状況を確認し、屋外への避難がかわって危険な場合は、家の2階や、斜面とは反対側の部屋など、屋内より安全な場所に移動する
避難指示(緊急)	切迫した状態であり、被害発生のお可能性が極めて高い状態	ただちに避難を開始する

避難情報伝達の経路



内水はん濫と外水はん濫

洪水には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなることにより起こるはん濫(内水はん濫)と、川の堤防が壊れたり堤防から水が溢れたりして発生するはん濫(外水はん濫)があります。まずは、洪水の発生する仕組みを理解して、避難所まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。



雨の強さの表現と降り方 (1時間雨量)

下の表は、雨の強さと降り方の目安、それに伴う災害の危険性を示したものです。普段から雨の様子に注意し、警報や避難勧告が出る前でも、危険と判断すれば自主的に避難することが大切です。

	やや強い雨 10~20mm未満	強い雨 20~30mm未満	激しい雨 30~50mm未満	非常に激しい雨 50~80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返りで足元がぬれる。	●傘をさしてもぬれる。車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くと注意が必要。 ●小規模のかけ崩れのおそれがある。	●倒滑や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。	●山崩れ、かけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起こりやすくなる。 ●多くの災害が発生する。	●雨による大規模な災害の発生のおそれが高く、最悪な警戒が必要。

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違い、地形や地質の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますが、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。

 状況により、適切に避難しましょう 避難の準備を心がけ、状況に応じて適切に避難しましょう。	 浸水時に長靴は厳禁 避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。
 住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持ちましょう 特に体の不自由な方や子供は、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。	 集団で助け合おう 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
 車両での避難は避けましょう 車両は、約30cmの浸水で走行困難になります。また、乗り捨てられた車などは、復旧の際の妨げになります。	 安全なルートで 川べり、地下道路などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
 非常持ち出し品は家族分用意しましょう 非常持ち出し品は両手が自由に使えるようにリュックサックにまとめ、持ち出しやすい所に置いておきましょう。	 避難所ではルールを守って、互いに思いやりを 避難所には運動靴を守ることがストレスを減らすことにつながります。お互いに思いやりの心を忘れずにしましょう。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告が発令されていても、かけや浸水区域から離れる(水平避難)だけでなく、近くの頑丈な建物の2階以上や自宅の2階といった高い場所へ移動(垂直避難)して救助を待つという判断も必要です。



避難所3つのマナー

ゆすりあい 避難所はみんなで使うところです。限られたスペースがあります。トイレの順番などできるだけゆすり合います。	おもいやり 避難所では大きな声を出したり、走り回ったりすると、まわりの人たちの迷惑になります。お互いにおもいやりの気持ちで、過ごしましょう。	たすけあい ケガをしている人や体の不自由な人、また、病気の人も避難所には集まります。みんなが少しでも快適に過ごせるように助け合います。
---	--	---

大雨・洪水に関する注意報・警報について

次のような場合に、大阪管区気象台から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報よりもはるかに高い危険度」
大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあるとき注意を呼びかける予報。	大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあるとき予想したときに発表。	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。
洪水、長雨などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあるとき注意を呼びかける予報。	洪水、長雨、暴風などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあるとき予想したときに発表。	※洪水は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。
「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。		

- このほか、数年に一度の猛烈な雨が観測された場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。この情報が発表された地域では、近くで災害の発生につながる事態が生じていることを意味しています。
- 大雨などのときには、テレビやラジオなどで最新の注意報・警報・特別警報の発表状況を確認するようこまします。
- 気象庁の天気予報電話サービス「177」(携帯電話・スマホからは市外局番に続けて「177」)や、気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)でも確認できます。 ※羽曳野市に注意報・警報が発表される際の雨量基準値などについては、気象庁ホームページで知ることができます。

災害時の情報入手先

羽曳野市ホームページ 羽曳野市 ホーム 検索 Q ▶羽曳野市の気象・防災情報など (PC) https://www.city.habikino.lg.jp/ (携帯電話) https://www.city.habikino.lg.jp/index.sp.html	おおさが防災ネット 羽曳野 おおさが防災 検索 Q ▶羽曳野市の気象・避難情報などの防災情報 (PC) http://www.osaka-bousai.net/habikino/index.html (携帯電話) http://www.osaka-bousai.net/mobile/habikino/
川の防災情報 川 概況 検索 Q ▶全国の雨量、川の水位、予警報などをリアルタイムでチェック (PC) http://www.river.go.jp/ (携帯電話) http://river.go.jp/ (スマートフォン) http://www.river.go.jp/s/	大阪府河川防災情報 河川情報 大阪 検索 Q ▶大阪府内各地の雨量、河川水位、地溝溜りなど (PC) http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/ (携帯電話) http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/mobile/
気象警報・注意報:大阪府 警報 大阪 検索 Q ▶大阪府エリアの気象警報・注意報 (PC) http://www.jma.go.jp/jp/warn/331_table.html	気象庁防災情報(大阪府) 気象庁 防災 大阪 検索 Q ▶大阪府エリアの防災情報(ナウキャスト、警報、注意報、アメダス) (PC) http://www.jma.go.jp/jma/boosai/osaka.html
高解像度降水ナウキャスト ナウキャスト 検索 Q ▶25m解像度で降水の短時間予報 (PC) https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/	Yahoo 雨雲ズームレーダー 雨雲ズーム 検索 Q ▶全国各地の実況雨雲の動きをリアルタイムでチェック (PC) https://weather.yahoo.co.jp/weather/zoomradar/
おおさが防災ネット 防災情報メール 配信サービス ※詳しくは、 http://www.osaka-bousai.net/habikino/PreventInfoMail.html をご覧ください	おおさが防災ネットの防災情報メール配信サービスは、気象・地震・津波情報、災害時の避難勧告・指示などの防災情報について、メールで配信するものです。 ♪ touroku@osaka-bousai.net へ空メールを送信し、登録を行ってください

地域の防災力を高めよう

災害発生時には、羽曳野市や関係機関は全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、公的な機関の対応が困難になることが予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地域にて自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなど、防災力を高めましょう。



災害時要援護者について

災害時要援護者とは、高齢者や障がいのある方、難病患者などの災害発生時の対応に何らかの手助けが必要な人々のことです。また、避難所生活が必要となった場合などに要援護者の範囲はもう少し広げることが考えられます。具体的に、妊産婦や乳幼児、日本語を十分理解できない外国人の方々などが想定されます。羽曳野市では災害時要援護者支援のしくみ作りに取り組んでいます。地域で協力し日頃から声をかけあう関係作りや避難訓練を行い、災害時にスムーズな避難支援ができるようにしましょう。

高齢者・病人 ●歩行の補助をするなど協力して安全な場所まで避難する。 ●複数の介助者で対応する。		目の不自由な方 ●声をかけ情報を伝える。 ●誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩手をゆっくり歩く。	
肢体の不自由な方(車椅子) ●階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。 ●介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、協力して避難する。		耳の不自由な方 ●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。 ●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。	
外国人の方 ●話すときは、やさしい日本語で話しかける。 ● <input checked="" type="checkbox"/> 避難している <input checked="" type="checkbox"/> やさしい日本語に置き換えて伝える <input type="checkbox"/> 逃げている ●身振りや手振り話しかけ、孤立しないようにする。			

局地的大雨(ゲリラ豪雨)から身を守る

このような場所では、**天気の変化に注意し、危険を感じたらすぐに身の安全を図ってください**

川などの釣りや水遊び	河原や川の中州でのキャンプ、バーベキュー	地下をくぐる形式の立体交差(アンダーパス)	河川や下水道の工事現場
------------	----------------------	-----------------------	-------------

↓

チェックすべき事	こんなときは要注意
天気予報	「大気の状態が不安定」「雷」「天気の変化」などの表現があるとき
警報や注意報	雷注意報、大雨や洪水の警報・注意報が出ているとき
レーダーなどの観測情報(携帯電話などで入手)	周辺や上流で雨が降っているとき
空の状態	「急に真っ黒な雲が近づいてきた」「雷鳴が聞こえる」「稲光が見えた」とき
川の状態	「水かさが増してきた」「濁ってきた」「流木や落ち葉が流れてきた」とき
看板	「危険区域には立ち入らない」などの表現があるとき

↓

危険を感じたら、ただちに避難!

遊んでいる子供や工事中の作業員は、周囲の状況の変化に気付けないため、保護者や監督者は危険を感じたら、すぐに避難を呼びかけましょう。総雨量は少なくても、**多数で甚大な被害が発生することがあります。**

洪水・豪雨時の危険箇所

洪水や豪雨時の地下施設・地下室などは危険です。地下空間は、地上の浸水状況と大きく異なり、冠水や停電の危険性が高いため、特に早めの避難が必要です。

 地下室では外の様子がわかりません。	 水深が20~30cmでも、水圧でドアは開かなくなります。	 地上が浸水すると、一気に水が流れ込んできます。
 地下駐車場は水につかるおそれがあります。	 浸水すると電気が消え、エレベーターは止まります。	 はん濫水が地下街へ流れ込むと、階段からの脱出が困難になります。
アンダーパスに注意 アンダーパスとは、道路や鉄道などが立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に冠水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしものときに備えて迂回路を確認しておきましょう。		

浸水への備え

浸水が浅い場合には、土のう(無い場合は水のう)を設置することで、水が建物へ浸入するのを防げます。簡易的な措置として、植栽用プランターや石油用ポリタンク、長めの板(はしごやテールでもOK)などを、ビニールシートで包んで設置してもよいでしょう。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておくこと、より効果的です。

簡易水防工法① プランター+ビニールシート 土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。	簡易水防工法② 簡易水のう+止水板 簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせて出入口に設置し、浸水を防ぎます。	簡易水のうの作り方 家庭で使用しているごみ袋(40リットル程度の容量)を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。
道路の側溝や雨水ますの点検・清掃 ●側溝や雨水ますの集水口に泥や落ち葉、ゴミなどが詰まっていないか点検しましょう。 ●浸水の原因となりますので、詰まっていたら取り除きましょう。		

非常持ち出し品

いざというときには、ただちに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、非常持ち出し品を常備しておきましょう。

食料品 飲料水、缶詰、レトルト食品、赤ちゃんがいる人は粉ミルクと哺乳瓶など。	医薬品 ばんそうこう、消毒薬など。普段飲んでる薬も忘れずに。	衣料品 衣類、下着、タオル、雨具、毛布や寝袋など。
貴重品 現金、通帳、印鑑、身分を証明できるもの。	日用品 懐中電灯、予備電池、マッチ、ライターやロウソクなど。	ラジオ 携帯できるもの。

この他に、災害復旧までの数日間分(最低3日分)の水と食料を、非常備蓄品として各自、各家庭の人数分を準備しておきましょう。貴重品は、通常時にはリュックサックなどに入れて、避難時に持ち出すようにしましょう。